

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌に対する胃切除術の術後経口摂取量に関する後ろ向き観察研究
	研究目的	胃癌に対し胃切除術が施行された患者の食物摂取頻度調査表 (FFQW82) により得られた経口摂取量の変化を後ろ向きに検討することで、胃切除後の食事摂取量の変化を定量化し、胃切除後の体重減少の原因の一つである食事摂取量の変化を明らかにすることを目的としている。 FFQW82 は朝・昼・夕食の食事摂取の内容と頻度を問う形のアンケート方式による食事摂取頻度調査表である。16 食品グループの計 82 項目の写真のついた食品群から、1 週間の摂取状況を回答していただき、それにより 1 日の食事摂取量 (総エネルギー量)、蛋白・脂質・糖質などの栄養素毎の摂取状況が把握できる。 食事摂取量がより低下し栄養介入が必要となる患者集団を明らかにすることや、より効果的な栄養介入の方法が明らかになることを期待する。
	研究対象者	2010 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日の期間に当院にて胃切除術が施行された胃癌の患者の内、周術期の栄養指導の際に FFQW82 を用いた経口摂取量調査が施行された患者を対象とする。
	研究期間	西暦 2021 年 3 月 22 日～西暦 2025 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島 貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし